

農業研修教育・農業総合支援センター施設整備事業（拡充）

1 趣旨

次代の農業を担う意欲と技術・経営能力に優れた青年農業者を育成・確保するとともに、経営の発展段階や地域の特性に応じた先進的技術・経営手法の習得の促進により、効率的かつ安定的な農業経営を確立していくことが緊急の課題となっている。

このため、農業に関する研修教育の中核的機関である道府県農業大学校において、技術革新に対応した高度で幅広い分野にわたる研修教育を実施するための施設を整備する。加えて、道府県農業大学校において、近年の雇用情勢の悪化の中で農業外も含めた多様な人材の就業等を実現できるよう、厚生労働省と連携して策定した「農林業をやってみよう」プログラムに基づく職業訓練コースの設置運営に必要な施設・機械を整備するほか、普及事業の在り方に関する検討会報告を踏まえ、試験研究機関、農業総合支援センター（仮称）が有機的に連携・協力し、技術革新に意欲的な農業者等と共に、最先端技術についての組立・実証を短期間で推進するための調査研究用施設等を緊急に整備する。

また、地域段階における実践的な個別技術に関する研修を行うための施設を引き続き整備する。

2 事業内容

(1) 研修教育基幹施設

道府県農業大学校において研修教育を実施する等のための施設等

研修教育棟、宿泊棟等施設

農業生産実習、食品加工実習等施設

新技術・環境保全型農業研修施設

公開講座、体験交流等施設

離職者職業訓練用研修施設・機械【メニュー追加】

調査研究・実験用施設・機材【メニュー追加】

(2) 現地濃密指導施設

地域段階において道府県農業大学校、普及組織、試験研究機関が一体となって実践的な個別技術に関する研修を行うための施設

短期研修教育施設、長期研修教育施設

個別経営等診断研修施設、宿泊施設

土壤等分析・診断研修施設、研修用農業機械施設、簡易ほ場整備

3 事業実施主体 都道府県、青年農業者等育成センター、一部事務組合

4 事業実施期間 平成12～20年度

5 補 助 率 1/2

6 平成16年度概算決定額 1,009,248(1,892,495)千円

（うち、研修教育基幹施設整備 905,708千円
現地濃密指導施設整備 103,540千円）

【担当課：経営局 女性・就農課、普及課】

農業研修教育・農業総合支援センター施設整備事業 のうち調査研究・実験用施設・機材の整備（概念図）

新たな支援体制 = 一体的支援

